

実験病理組織技術研究会
第28回学術集会 プログラム

開催日：6月24日（金）ライブ配信

開会：[9:30]

総合司会：齋藤美佐江

実行委員長挨拶：五十嵐功

研究発表 I [9:35-10:20] 座長：明間聡史、永田百合子

1. 「脱灰法に依らない新規骨軟骨染色法(JFRL 染色)における頑健性の検証」
○鷺見嘉奈子
一般財団法人日本食品分析センター 千歳研究所
2. 「TRAP 染色と抗 TRAP 抗体を用いた免疫組織化学染色による破骨細胞染色の比較」
○山下渚、佐田萌、大熊健司
株式会社ケー・エー・シー バイオサイエンス事業部 受託試験部
3. 「カニクイザル鼻腔における切り出し方法の検討」
○四郎丸千恵¹⁾、木下恵華¹⁾、伊藤隆芳¹⁾、渡辺秀幸²⁾
株式会社 LSIM 安全科学研究所¹⁾ 鹿島研究所 病理研究部、²⁾ 熊本研究所 病理研究部

研究発表 II [10:20-11:05] 座長：池田裕樹、寺尾壽子

4. 「組織マーキング剤の検討」
○乙邊貴代江¹⁾、四郎丸千恵¹⁾、木下恵華¹⁾、山田剛士¹⁾、渡辺秀幸²⁾
株式会社 LSIM 安全科学研究所¹⁾ 鹿島研究所 病理研究部、²⁾ 熊本研究所 病理研究部
5. 「エタノール・アセトン等量混合液を用いた脱脂による皮膚の病理組織標本のアーティファクト軽減の検討」
○西崎陽香、畑千恵、安藤稔、永田百合子
株式会社ヤクルト本社 中央研究所 安全性研究所 安全性第二研究室
6. 「精巢固定に用いる FSA 液の事前調製時期についての検討」
○松本翔伍、吉川剛、寺山由依
大塚製薬株式会社 徳島研究所 前臨床研究センター

教育講演 I [11:05-12:05] 座長：萩原孝

『病理組織標本作製で健康を害さないために』

筑波大学 環境安全管理室 室長（教授） 中村修 先生

===== 休憩 [12:05-13:00] =====

賛助企業からの情報提供 [13:00-13:30] 座長：澤多美和

1. 「高感度・定量的かつ局在解析可能な免疫組織染色受託サービス Quanticell の紹介」

○齋藤晴之

コニカミノルタREALM株式会社

2. 「微小環境研究を加速する超高速マルチプレックス IF 自動染色装置 Lunaphore LabSat の紹介」

○大橋健太

PHC 株式会社

3. 「Pathology 専用ディスプレイ MDPC-8127」

○大竹力男

株式会社バイオテック・ラボ

特別講演 [13:30-14:30] 座長：五十嵐功

『線維化の功と罪、そのメカニズムを探る』

大阪府立大学（現：大阪公立大学）名誉教授 山手丈至 先生

===== 休憩 [14:30-14:45] =====

コントロールサーベイ（エラスチカ・マッソン染色）報告 [14:45-15:45] 座長：中野健二

アンケート集計結果報告：米澤美恵

評価結果報告：渡辺秀幸

教育講演 II [15:45-16:45] 座長：望月貴治

『エラスチカ・マッソン染色の原理とポイント』

（元）サクラファインテックジャパン株式会社 渡辺明朝 先生

閉会挨拶 副実行委員長：中野健二

閉会： [16:50]